

1 ; 期日 平成24年 11月20日 (火) 14:00~15:30

2 ; 場所 大田原女子高等学校 応接室

3 ; 内容

部会長挨拶

会場校 教頭挨拶

自己紹介

情報教育部会長挨拶

議題 (1) 支部会より

(2) 各校の「情報の授業について」

・科目名 単位数

旧課程については、情報A 2単位というのがほぼ標準となっている。

ただし、各校によって、履修年度には差がでている。

1-3年、ないし1-2年の分割履修

1年において2単位履修 (最も多いパターンになっている。)

2年において2単位履修 (上記について多いパターンになっている。)

3年において2単位履修 (進学校では、このパターンにして、後半は進路研究に利用する。)

情報B 2単位というのも2校だけあった。

新課程については、社会と情報を情報Aと置き換えるように設置を予定している学校がほとんどである。

情報Bを選択している学校では、情報の科学の設置を予定している。

また、専門情報では、情報と表現や、情報の表現と管理を設置している学校が数校あった。

・授業の内容

情報A 教科書の内容を、問題集を用いて学習 タッチメソッドの習得 カレンダー作成
時間割の作成 教科書の再現 パワーポイントでプレゼン HTML文書で自己紹介
成績処理 等を題材として、座学と実習を織り交ぜて行っているところが
多かった。学校によっては、検定試験を受けさせることを前提としての指導も行
われていた。(ワープロ検定3級)

情報B モラル教育 ワープロ実習 表計算実習 プレゼン アルゴリズム モデル化
実習を中心として、検定対策なども行われている。

・担当者について

ほぼ全ての学校において、ほぼ全ての授業が臨免で対応されている。
正規の免許を持っている人が居ても、情報の授業を持ってくれない。
臨免の費用が自腹の学校もある。
学校によって、どの教科が情報を持つかの独自ルールがある。
数学が必ず持つ学校、理科が必ず持つ学校、また、商業科が担当する学校。
前任者が頑張って、高度な授業展開をすると、それを引き継ぐのが大変であり、
ある学校では、春休みに、引き継ぎの講習がある。
情報は個人のスキルがばらばらで、授業はそれに依るところが大きいのが難点である。

(3) 情報の教材の提供について

・主に有用なHPの情報交換

なるほどタイピング (タッチメソッドの習得)

日本情報処理検定協会のサイト内にある各種検定の過去問

E x e l 大辞典

よねさんのW o r d と E x e l の小部屋

G i m p (フリーの画像編集ソフト)

ゆんフリー写真素材集

テキスト音楽サクラ (音楽編集ソフト)

4 ; その他

スマホの使い方に関する講演が必要かもしれない。

ウィルス 音のしない写メ ニコ動 生放送

など携帯電話からさらに発展した問題が出てきている。